

発行日：2016年02月18日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名：タフタイトEPS 主剤

会社名：株式会社クボタケミックス

住所：〒556-8601 大阪市浪速区敷津東1-2-47

担当部門：品質保証部 堺品質保証課

電話番号：072-245-8062

FAX番号：072-245-8268

緊急連絡先：品質保証部 堺品質保証課
072-245-8026

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 2

皮膚感作性：区分 1

生殖細胞変異原性：区分 2

発がん性：区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性)：区分 1

水生環境有害性(長期間)：区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれの疑い

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置

漏出物を回収すること。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
ビスフェノールAエポキシ樹脂	35 - 45	25068-38-6	-
n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル	1 - 5	2426-08-6	1-359
酸化チタン(IV)	5 - 10	13463-67-7	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル，酸化チタン(IV)

化管法「指定化学物質」該当成分

n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル

GHS分類区分該当有害成分

健康有害性シンボル該当成分

n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル

環境シンボル該当成分

ビスフェノールAエポキシ樹脂

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

6. 漏出時の措置

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会(2013) 0.3mg-ナノ粒子/m³

(酸化チタン(IV))

ACGIH(1992) TWA: 10mg/m³ (下気道刺激)

(n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

ACGIH(2002) TWA: 3ppm (生殖障害、感作)

注釈(症状、摂取経路など)

(n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

皮膚吸収; 皮膚感作性

作業環境許容濃度(中国 GBZ 2.1-2007)

(酸化チタン(IV))

PC-TWA: 8 総粉じん-mg/m³

(n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

PC-TWA: 60 mg/m³

OSHA-PEL

(酸化チタン(IV))

TWA 15mg/m³

(n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

TWA 50ppm, 270mg/m³

NIOSH-REL

(n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

C 5.6ppm, 30mg/m³

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：パテ状

色：白色

臭い：微刺激臭

引火点：172°C

比重/密度: 1.5

溶解度

水に対する溶解度：不溶

溶媒に対する溶解度：ほとんどの有機溶剤に易溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

常温、常圧で安定。

混触危険物質

強塩基、酸化性物質、強酸化性物質

硬化剤成分に相当するものなど。

その他

長期間保存すると、揮発性ガスが発生して、容器耐圧は高くなることがある。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

rat LD50 = 2056 mg/kg (計算値)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

rabbit LD50 = 788mg/kg (PATTY 4th, 1994)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

vapor : rat LC50=2590 ppm/4hr

労働基準法: 疾病化学物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

ヒト 皮膚刺激性 (ACGIH 7th, 2001 et al)

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

ラビット 刺激性 (CERIハザードデータ集 2001-36, 2002 et al)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

ラビット 軽度の刺激性 (IUCLID, 2000)

(n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

ラビット 眼刺激性 (DFGOT vol.4, 1992et al)
 (ビスフェノールAエポキシ樹脂)
 ラビット 軽度の刺激性 (GERIハザードデータ集 2001-36, 2002)

感作性

感作性[厚労省局長通達]
 ビスフェノールAエポキシ樹脂

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]
 (ビスフェノールAエポキシ樹脂) cat.1; DFGOTvol.19, 2003
 (n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル) cat.1; ACGIH, 2001

生殖細胞変異原性

[日本公表根拠データ]
 (n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル) cat.2; PATTY 4th, 1994
 [厚労省局長通達]
 (ビスフェノールAエポキシ樹脂)
 (n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

発がん性

[日本公表根拠データ]
 (酸化チタン(IV))
 IARC (Monograph Vol.93, in preparation) 粒径10-50nm Gr.2B
 (n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)
 EU Cat.3
 (酸化チタン(IV))
 IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない
 (酸化チタン(IV))
 ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない
 (酸化チタン(IV))
 日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質
 (n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)
 EU-発がん性カテゴリ2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]
 (n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル) 気道刺激性 (DFGOT vol.4, 1992)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]
 (n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル) 呼吸器 (PATTY 4th, 1994)

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]
 (ビスフェノールAエポキシ樹脂)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=1.7mg/L/48hr (CERI・NITE, 2006)

水溶解度

(酸化チタン(IV))

溶けない (HSDB, 2004)

(n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

2 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2005)

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

0.0000041 g/100 ml (CERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

残留性・分解性

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

BODによる分解度: 0% (既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性

(n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル)

log Pow=0.63 (ICSC, 2005)

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

BCF <= 42(Check & Review, Japan)

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 3082

品名(国連輸送名) :

環境有害物質、液体、N.O.S.

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 9

容器等級 : III

指針番号 : 171

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

健康障害防止指針公表物質(法第28条第3項)

n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

酸化チタン(IV); n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル(3.31%)

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質
 ビスフェノールAエポキシ樹脂

大気汚染防止法
 有害大気汚染物質(中環審第9次答申)
 n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
 有害液体物質(X類)
 ビスフェノールAエポキシ樹脂
 有害液体物質(Z類)
 酸化チタン(IV)

環境有害性
 海洋汚染物質_急性有害性
 ビスフェノールAエポキシ樹脂

海洋汚染物質_長期間有害性
 ビスフェノールAエポキシ樹脂

US主要規制
 TSCA
 n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル; 酸化チタン(IV); ビスフェノールAエポキシ樹脂

適用法規情報
 この物質に関する貴国又は地方の規制については、貴社の責任でご調査願います。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
 Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
 2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
 JIS Z 7253 (2012年)
 JIS Z 7252 (2014年)
 2015 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
 Supplier's data/information

責任の限定について

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせられたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

発行日：2016年02月18日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名：タフタイトEPS 硬化剤

会社名：株式会社クボタケミックス

住所：〒556-8601 大阪市浪速区敷津東1-2-47

担当部門：品質保証部 堺品質保証課

電話番号：072-245-8026

FAX番号：072-245-8268

緊急連絡先：品質保証部 堺品質保証課
072-245-8026

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口):区分 4

急性毒性(経皮):区分 4

皮膚腐食性及び刺激性:区分 1

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分 1

皮膚感作性:区分 1

生殖細胞変異原性:区分 1B

生殖毒性:区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性):区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有害

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱い説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
 保護手袋又は保護衣を着用すること。
 保護手袋を着用すること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。
 保護眼鏡/保護面を着用すること。
 指定された個人用保護具を使用すること。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

特別な処置が必要である。
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
 口をすすぐこと。
 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

有害性

エポキシ樹脂硬化剤による皮膚障害を起こす恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：
 混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
ポリチオール	非公開	非公開	-
変性脂肪族ポリアミン	非公開	非公開	-
クレゾール(混合異性体)	1-5	1319-77-3	1-086
フェノール	1-5	108-95-2	1-349

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

クレゾール(混合異性体)，フェノール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

クレゾール(混合異性体)，フェノール

化管法「指定化学物質」該当成分
クレゾール(混合異性体), フェノール
GHS分類区分該当有害成分
腐食シンボル該当成分
フェノール
健康有害性シンボル該当成分
フェノール

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
危険でなければ漏れを止める。
乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを取除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋又は保護衣を着用すること。

保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(クレゾール(混合異性体))

作業環境評価基準(1995) ≤ 5 ppm

許容濃度

(フェノール)

日本産衛学会(1978) 5ppm; 19mg/m³ (皮)

(クレゾール(混合異性体))

日本産衛学会(1986) 5ppm; 22mg/m³ (皮)

(フェノール)

ACGIH(1992) TWA: 5ppm (上気道刺激; 肺障害; 中枢神経系損傷)

(クレゾール(混合異性体))

ACGIH(2009) TWA: 20mg/m³(IFV) (上気道刺激)

注釈(症状、摂取経路など)

(クレゾール(混合異性体))

皮膚吸収

(フェノール)

皮膚吸収

作業環境許容濃度(中国 GBZ 2.1-2007)

(フェノール)

PC-TWA: 10 mg/m³ (皮)

(クレゾール(混合異性体))

PC-TWA: 10 mg/m³ (皮)

OSHA-PEL

(クレゾール(混合異性体))

TWA 5ppm, 22mg/m³

(フェノール)

TWA 5ppm, 19mg/m³

NIOSH-REL

(クレゾール(混合異性体))

TWA 2.3ppm, 10mg/m³

(フェノール)

TWA 5ppm, 19mg/m³; C 15.6ppm, 60mg/m³

ばく露防止

保護具

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

適切な換気および密閉の装置を使用する。
取扱いにおいては、局所排気装置を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：パテ状

色：黒色

臭い：特有臭メルカプタン臭

pH：適用外

引火点：知見なし

比重/密度: 1.4

溶解度

水に対する溶解度：不溶

溶媒に対する溶解度：ほとんどの有機溶剤に易溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

常温、常圧で安定。

通常の乾燥した大気下では安定している。

混触危険物質

強塩基、酸化性物質

エポキシ樹脂成分に相当するもの

その他

長期間保存すると揮発性ガスが発生して、容器内圧が高くなることもある。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

rat LD50=375 mg/kg (計算値)

(クレゾール(混合異性体))

rat LD50=1454 mg/kg (IUCALID, 2000)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

rat LD50=670 mg/kg (EHC 161 1994)

(クレゾール(混合異性体))

rabbit LD50=2000 mg/kg (EHC 168 1995)

労働基準法: 疾病化学物質

フェノール; クレゾール(混合異性体)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

ラビット/ヒト 腐食性 (EHC 161, 1994)

(クレゾール(混合異性体))

ラビット 非可逆性の組織破壊 (EHC 168, 1995)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

ラビット 非可逆的作用 (EHC 161, 1994)

(クレゾール(混合異性体))

ラビット 角膜混濁と血管新生 (CERIハザードデータ集 97-9(1), 1998)

生殖細胞変異原性

[日本公表根拠データ]

(フェノール) cat.1B; CERI・NITE有害性評価書 No.32, 2005

発がん性

(フェノール)

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(クレゾール(混合異性体))

ACGIH-A4(2009): ヒト発がん性因子として分類できない

(フェノール)

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(フェノール) cat.1B; CERI・NITE有害性評価書 No.32, 2005

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(クレゾール(混合異性体)) 血液系、呼吸器、心臓、肝臓、腎臓、中枢神経系 (DFGOT vol.14, 2000)

(フェノール) 呼吸器、心血管系、腎臓、神経系 (CERI・NITE有害性評価書 No.32, 2005)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(クレゾール(混合異性体)) 麻酔作用 (DFGOT vol.14, 2000)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(クレゾール(混合異性体)) 心血管系、血液系、腎臓、中枢神経系 (DFGOT vol.14, 2000)

(フェノール) 心血管系、肝臓、消化管、血液系、腎臓、脾臓、胸腺、中枢神経系 (CERI・NITE有害性評価書 No.32, 2005)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(クレゾール(混合異性体)) 呼吸器 (DFGOT vol.14, 2000)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に有害

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

甲殻類(ネコゼミジンコ属) LC50=3.1 mg/L/48hr (EU-RAR, 2002)

(クレゾール(混合異性体))

甲殻類(ヨコエビ科) EC50=7mg/L/48hr (CERI・NITE, 2006)

水溶解度

(フェノール)

溶ける (ICSC, 2001)

残留性・分解性

(フェノール)
 BODによる分解度: 85% (既存化学物質安全性点検データ)
 (クレゾール(混合異性体))
 分解度 > 60% (SIDS, 2005)

生体蓄積性

(フェノール)
 log Pow=1.46 (ICSC, 2001)
 (クレゾール(混合異性体))
 log Pow=1.95 (PHYSPROP Database, 2005)

その他情報

[会社固有データ]
 漏えい・廃棄などの際には、環境に影響を与える可能性があるため、取り扱いに注意する。

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
 承認された廃棄物集積場で処理する。
 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : NA

指針番号 : 171

特別規定番号 : 223(III); 274; A3; A803

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
 労働安全衛生法

名称表示危険/有害物(令18条)

クレゾール(混合異性体); フェノール

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

クレゾール(混合異性体); フェノール

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

クレゾール(混合異性体); フェノール

化審法

優先評価化学物質

フェノール; クレゾール(混合異性体)

大気汚染防止法

有害大気汚染物質(中環審第9次答申)

フェノール

特定物質(政令第10条)

フェノール

船舶安全法

腐食性物質 分類8

航空法

腐食性物質 分類8

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

フェノール; クレゾール(混合異性体)

有害液体物質(Y類)

クレゾール(混合異性体); フェノール

環境有害性

水質汚濁防止法

指定物質

フェノール

US主要規制

TSCA

フェノール; クレゾール(混合異性体)

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。